

「東日本大震災を体験して 人生のまさか」

2011年3月11日以降、新潟から東北へ通い続けている、「新潟よろず医療会 チームませう」の面々が東北で出会った、目からうろこが落ちるような“素晴らしい人たち”を紹介する連続講演会「東北からの贈り物」
第二回は「**陸前高田の恵比寿様こと古山敬光和尚**」の登場です！温かな容貌と語り口に、ぜひ出逢って下さい。



演者 古山 敬光氏

陸前高田市広田半島広田町泊の高台にある臨済宗妙心寺派の700年の歴史をもつ古寺「慈恩寺」の住職。

東日本大震災後、軒下まで浸水し、自らの妹夫婦、甥を亡くしながら、100名以上の近隣住民を受け入れ、四か月間にわたり、避難所として寺を解放した。現在も、FACEBOOKにて、日本中の老若男女とつながり、全国からの支援活動の拠点として活躍。恵比寿さまを彷彿とさせるご容貌とお人柄に、日本全国に古山和尚ファンは数知れず。第二の故郷として、「慈恩寺」を目指す若人も多い。

日時

平成26年3月1日（土）
14時30分～16時30分（開場14時）

会場

新潟大学駅南キャンパス
「ときめいと」講義室A
JR新潟駅南口隣接 プライカ1 2階

入場料・参加資格

無料・どなたでもご参加ください
事前申し込みはありません

プログラム

第一部（14時35分～）
古山 敬光氏講演会

第二部（15時45分～）

交流座談会
陸前高田の皆様と中越の皆様

主催 新潟大学医学部保健学科坂井研究室

共催 新潟よろず医療会 チームませう

後援 新潟日報社

*本講演会は、文部科学省科学研究費基盤研究(A)「理論的基盤と臨床実践とを統合する新しい医療倫理学の方法論についての研究」の助成を受けて実施します。会の内容は記録し、研究に使用させていただきますので予めご了承ください。尚、使用にあたっては個人情報保護等、倫理的に十分配慮いたします。

お問い合わせ

坂井さゆり研究室
チームませう

025 (227) 0941
090 (3401) 7215

sakai@clg.niigata-u.ac.jp
iseki1028@gmail.com（井関）